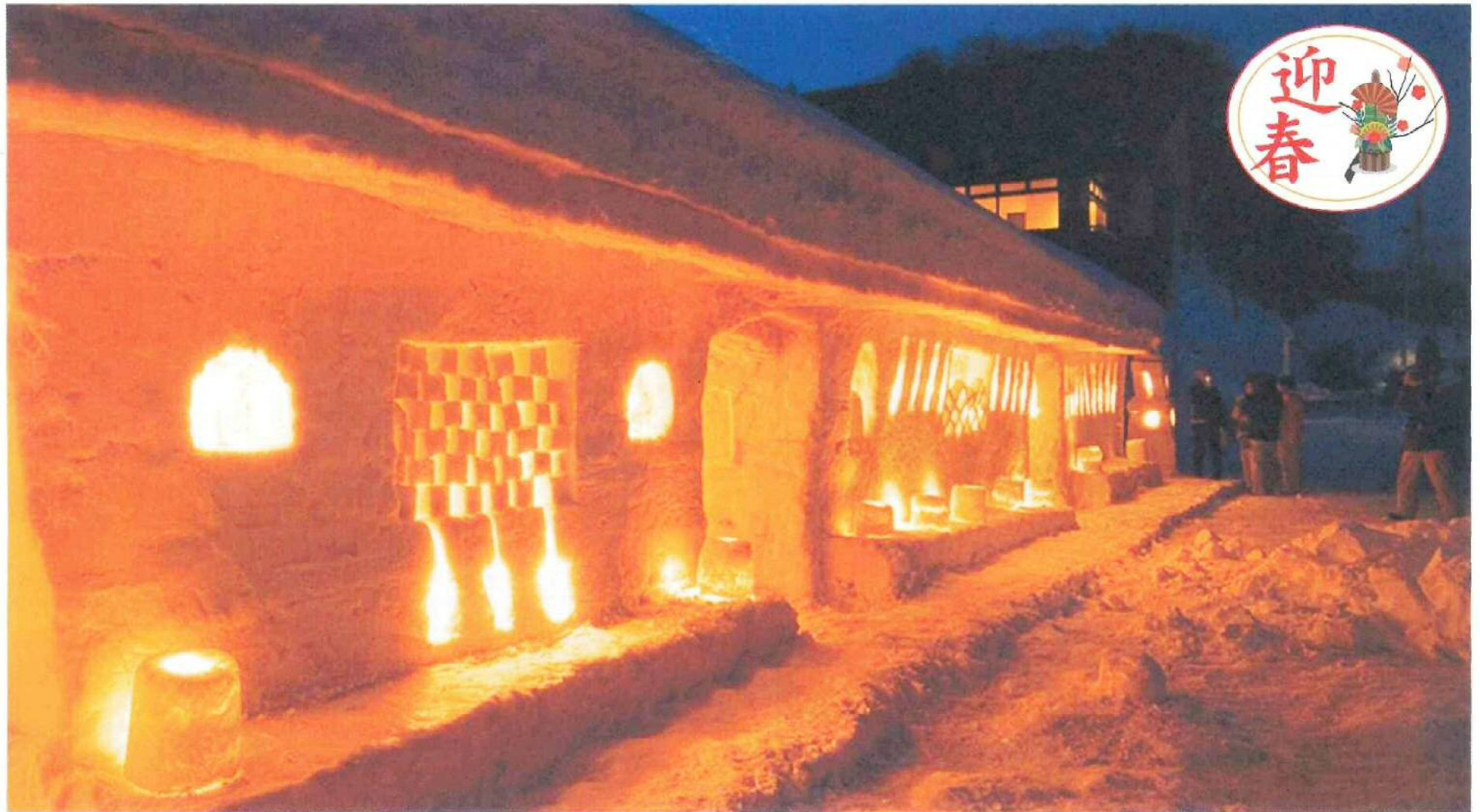


謹賀新年



山形建連

発行所
 (全建総連)
 山形県建設労働組合連合会
 (山形県建設国民健康保険組合)
 編集者 教 宣 部
 井 上 朋 行
 山形市北町三丁目1番7号
 電話 (023) 666-7702
 URL : http://www.kensetu-yamagata.jp
 E-mail : info@kensetu-yamagata.jp



年頭のご挨拶



委員長

佐藤 四男

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様にかかれましては、ご家族と共に希望に満ちた2018年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。併せて平素より県連の運営と諸活動にひとかたならぬご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、昨年の国内の景気は輸出産業が持ち直し景気感を押し上げたことに加え、株式相場の上昇や旺盛な建設投資もあり、日本経済は穏やかに回復基調にあります。建設産業では、元請ゼネコンや大手住宅企業が空前の売り上げで膨大な利益を上げ、かつてない経営環境に恵まれた一年でありました。そのような中、小規模建設事業者は元請業者からの仕事の発注は多いものの、現場で働く「公共工事設計労務単価」の賃金引き上げは反映されないままの厳しい経営を強いられ、景気回復に対する実感は得られませんでした。

今後、県連が取り組まなければならない重要な課題は、担い手育成・確保に向けた適正な賃金単価の獲得で、建設労働者が生活に心配なく安心して働き、仕事に集中できる環境づくり「働き方改革」が急務です。そうしたことから、週休2日制を前提とした適正な工期や、実稼働時間・日数が減少し

ても収入が減らない月給制導入の方策を全建総連は求めています。

このことは現在の事態・状況を展望すれば早急に取り組まなければならない課題であることから、関係機関に対して実現に向けた要請に努めて参ります。組合員の事業所の方々にもぜひ考慮していただき、広く前進させていただきたいと思ひます。

また、国は社会保障未加入問題を掲げ、社会保険加入推進の取り組みは今年で7年目となりました。昨年4月以降公共工事から2次下請け以下でも未加入労働者の排除が開始され、10月からは未加入業者を使うと、発注する公共機関はペナルティとして請負代金の削減を図っています。また、民間工事にも加入状況調査が始まっていますので、事業所や従事者の実態に応じた適正な社会保険加入をお願いいたします。

今年も建設労働者の暮らしの向上と建設国保を守り抜く運動、そして組合の前進に向けた取り組みに努めて参ります。組合員の皆様方の更なるご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、今年一年が皆様にとってご健勝で、労働災害の無い輝かしい年になりますようご祈念し、新年のあいさつと致します。



▼平成29年も数多くの選挙が行われました。年初めの知事選に始まり、市町村長・議会選挙と補欠選挙、10月に行われた衆議院議員選挙と、数多くの選挙で再任された方や新しく選ばれた人がいました。特に衆議院選挙においては、期待された新党は当初の予想に反し野党と共に迷走したため、自民党の圧勝に繋がる結果となりました。

▼国政は国家のために国民目線で、県政は県民のために市町村からの要望を聞き、各市町村は住民のために国や県と互いに連携しながら施策を行うものと思ひます。互いの置かれているポジションを十分に理解し、その中で最良を尽くすことだとも思ひました。

▼全建総連は国に対する陳情・補助金の増額を目指し、各県連・組合に対する施策や手引書等を作成します。県連はそれに伴い各単組をまとめ、組合員の為に活動することが肝要かと思ひます。誰のための役員かを認識し「組合員あつての組織」を肝に銘じながら、今後の活動に活かさなければと思ひます。

▼少子高齢化が進む中、組織自体の存亡も危惧されています。各業界の技術の伝承を早急に進めないと、我々の組織の存在が危ぶまれる以上に業界の存亡にも繋がるのではないかと、今後のご奮闘を期待します。

【教宣部 齋藤 勉 記】

山形県知事要請行動

リフォーム助成継続要望



佐藤委員長が要望書を手渡した

山形県連は平成29年11月10日(金)に山形県知事に、「住宅リフォーム総合支援事業の継続と拡充」「木造建築伝承の匠知事表彰制度の継続」並びに、「特定検診・特定保健指導に係る国保組合への助成」を要望しました。県連からは三役と事務局合わせて8人が参加。これに吉村知事はじめ、県土整備部建築住宅課、健康福祉部健康福祉企画課から課長が対応しました。

要望を受け吉村知事は、住宅リフォーム総合支援事業に取り組み今年で7年目を迎えている。県民の皆様から大変好評を頂いている。本事業は県民の住環境向上と県内の経済振興に大きな効果があり、今後も市町村と連携を図りながら事業を推進して行きたいと考えている。また、三世帯同居・近居世帯、移住・新婚・子育て世帯への優遇施策も人口減少対策が有効に働いていると話ししました。

これに対し佐藤委員長は、この制度は仕事の掘り起こしにも繋がっており、担い手育成にも効果がある。新築工事はプレハブ・プレカット化が進みある程度の知識があれば組み立てられるが、リフォームは経験が無ければ出来ない。県民の住環境改善、担い手に仕事を伝承していくには、リフォームが大事だと思っている。今後も対応して頂きたいと強く要望しました。

続いて吉村知事は伝承の匠知事表彰制度について、後継者を指導育成すると共に優れた技能を有した大工技能者を表彰する本制度は、人材育成の励みとして有効であると考えている。今後も大工技能者の目標になって頂くと共に、後継者の育成にご尽力を頂きたいと、事業継続に前向きな回答を得ました。

特定検診・特定保健指導の助成については、建設国

全建総連は10月25日、27日に北海道札幌市「ニトリ文化ホール」で第58回定期大会を開催し、53県連・組合から1441人が参加しました。最終日には、これまで4期4年、62万組合員の先頭に立ってきた三浦一男中央執行委員長が退任し、新たに吉田三男氏(建設埼玉)が選出されました。

三浦一男氏 中央執行委員長勇退

全建総連第58回定期大会にて

間を前に4年間を振り返り、全国の皆さんにお世話になり、人との出会いが大きな財産となった。全建総連は組合員・家族と一緒に運動できる素晴らしい組織。吉田委員長を先頭に一致団結し、更なる前進を期待していると話しました。

11月17日には、湯野浜温泉「愉海亭みやじま」において、長年にわたる組合運動の労をねぎらい、祝賀会を開催。全国各組合の代表



勇退記念祝賀会にて

者や鶴岡市長を始め、地元の関係者等82人が出席。発起人を代表して佐藤委員長が功績を紹介し、「栄えある名誉に輝かれた熱意ある功績は業界に長く継承されるものと誇り高く思う」と祝福しました。

三浦前委員長は「皆さんのおかげで無事に役目を終えることができました。支えてくれた妻にも改めて感謝したい」と謝辞を述べ、参加者と親交を温めました。



卓越した技能者に贈られる、「現代の名工」厚生労働大臣表彰を、剣持猛雄さん(田川)が受賞しました。

現代の名工は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰するもので、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能

「現代の名工」受賞 剣持猛雄さん(田川)

水準の向上を図ることを目的としています。

剣持さんは半世紀以上、建築大工職人として日本古来の伝統構法を研究・実践し、多くの文化財建造物の修復や一般住宅の建築等を手掛けました。中でも、地震に対する耐力が高く釘や金物を使わない板倉構法を得意とし、全国でその技能を遺憾なく発揮し、高い評価を得ています。

また、三川町立東郷小学校に代表される、公共建築物木質化の先駆的な取り組みにも多大な貢献をされました。

大工職人の思いを語る

「未来の匠」育成セミナー

山形県の支援事業として平成24年に設立された「山形の家づくり『未来の匠』育成協議会」では、11月8日に鶴岡工業高校建築科2年生を対象に「未来の匠育成セミナー」を開催。全建総連全国青年技能競技大会に出場経験のある山本秀康さんと佐藤智佳さんを講師に、「大工として歩んできた道・進むべき道」「ものづくりの携わること」をテーマに、技術・技能、入職した時の感覚、女性大工としての助言などを行い、学生たちは年代の近い講師の言葉に真摯に聞き入っていました。

山本さんが講演の中で「大工になると決めている人」を生徒に尋ねると、38人のうち1人手が挙がり、迷っている人も3人いました。

た。山本さんは自身の経験に触れながら「何をやって最初は怒られ、毎日辞めたいと思っていた」と修業時代を振り返りましたが、訓練校では今も付き合いのある仲間ができて、やればやるほど差ができる実力社会な点に魅力を感じ「職人として常に勉強することが大事」と強調しました。

佐藤さんは、父の影響と材料を形づくっていく道具の魅力が入職のきっかけと話しました。女性職人としての経験については、「どんな業界でも女性をよく思わない人がいる」としながらも、「私の周りでは、まだ人数の少ない女性職人を大切に育てようとして、丁寧に仕事を教えてくれる」とし、尻込みせずに頑張っ



山本秀康さん



佐藤智佳さん

参加した生徒は「大工としての大変さ、日々の積み重ねが後々実を結ぶことも分かった。交流会で将来に對してやるべきことが見えた」と感想を述べました。

標準賃金21年ぶり増額

2万5千円に

毎年、全国統一で行われる賃金実態調査を平成29年6月を対象月として行いました。調査結果に基づく各組合の意見・要望を踏まえ、12月12日開催の第3回執行委員会並びに第3回協議会において平成30年度標準賃金について慎重に討議した結果、千円引き上げの「標準賃金2万5千円」と取り決め、完全獲得に向け全組合が一致団結して取り組んでいくことを確認しました。

調査結果の特徴

例年より調査に対して批判的な意見が多いと感じます。また、休業・廃業のため白紙回答が更に増加しているようです。加えて、建設業の現状をマスコミ等で周知し適正価格の請求ができるような機運を醸成する、税金負担の軽減を求め、意見があります。対照的

に、自分のできる範囲から業界を改善するべき、現状に満足しているといった意見も見られます。しかし全体的には、生活していくことも苦しい状況である様子が伺えます。

全国的状况

賃金調査結果による賃金の増減は複雑で様々な要因

があると考えられますが、公共工事設計労務単価が引き上げられたことからすれば、低い水準にとどまっています。この間、建設産業を上げての担い手確保に向けた賃金の引き上げ、労働条件改善に向けての取り組みが展開され、大手ゼネコン・住宅企業の増収増益という状況からすると、建設技能者への還元不足が顕著

で、現場労働者は「好循環」から隔絶されている状況です。

平成29年度

賃金実態調査

一人親方も待遇改善に向けて請求・要求しよう!

一人親方の社会保険料負担は、「事業主負担でなく本人負担」とされ、「標準見積書」による法定福利費の内訳明示の対象外ですが、相当額を待遇改善のために請求・確保する必要があります

一人親方が、請負で仕事を行う場合は、個人事業として部位別に材料、施工費等諸経費を計上して見積・契約・請求を行います。資材等を支給されて「㎡単位による出来高」で請負をする場合の社会保険料負担と諸経費等の請求について考え方を示します

- ①建設国保料と②国民年金保険料は「直接工事費」に計上
- ③一人親方労災保険料と④建退共証紙代は間接工事費の「現場管理費」に計上
- ⑤その他諸経費については、実績等による換算金額を「一般管理費等」に計上

項目	摘要	保険料/月	平均月稼働日数	1日あたり金額(例)
法定福利費相当額	①社保/建設国保	34,100円	21日	1,624円
	②社保/国民年金	16,490円		785円
現場管理費	③社保(労保)/一人親方労災	年間保険料を365日で除す(例)給付基礎日額2.5万円		475円
	④建退共	-	-	310円
一般経費	⑤道具損料、車両償却費、燃料、交通費、安全衛生経費、研修費、通信費等	※各自の実情に応じた年間実績額を年間稼働日数により除す		2,400円



記入例 一人親方の社会保険料&諸経費込み見積書

構成	工程号	数量(㎡)	単価	金額(円)	備考
直接工事費	木工事代	30㎡	30,000	900,000	想定日数20日
	①	20日	1,624	32,480	社保負担分(建設国保)
	②	20日	785	15,700	社保負担分(国民年金)
計				948,180	a
間接工事費	現場管理費	20日	785	15,700	一人親方労災保険料と建退共証紙代
	計			15,700	b
一般管理費等	⑤	20日	2,400	48,000	実績換算による
合計				1,011,880	うち法定福利費見込額○○円(abcの合計金額)
(消費税相当額)				80,950	
総計				1,092,830	

項目	金額(円)
工事代金	1,011,880
消費税	80,950
合計	1,092,830

全国建設労働組合総連合(全建総連)
〒109-0050 東京都千代田区高田馬場2丁目7-15
TEL: 03-3200-4221 FAX: 03-3209-0538
E-mail: chingin@zenkosenoren.org http://www.zenkosenoren.org

山形県建設労働組合連合会
連絡先 住所: 〒990-0821 山形市北町三丁目1番7号
電話: 023-666-7702 FAX: 023-681-6607

平成30年度 建設労働者の標準賃金は

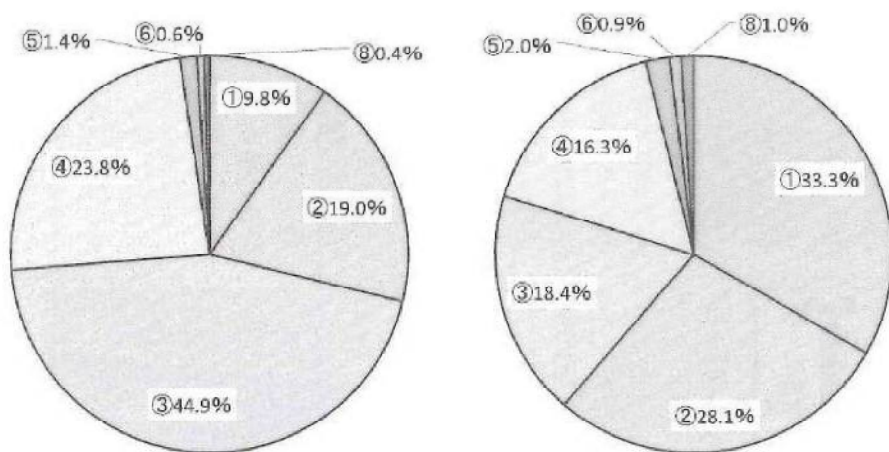
25,000円

完全獲得を 目指していこう!!

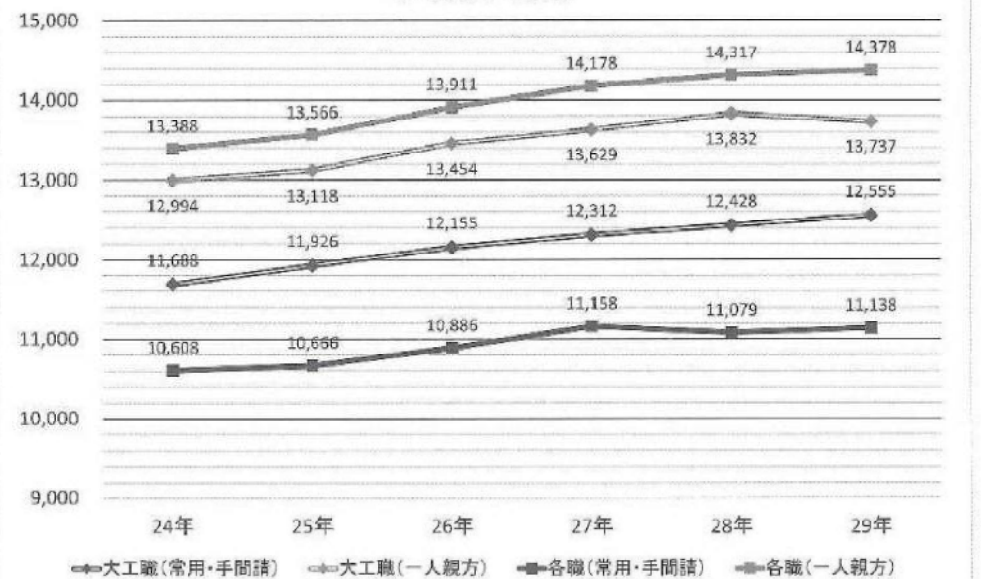
仲間の声

- ▼賃金が上がってほしい。現状では若い人が入って来ない。(40歳/大工)
- ▼全国で最低賃金を法的に決めて欲しい。(52歳/大工)
- ▼賃金調査は全体的な建設業の賃金の底上げにもつながる大事な調査だと思えます。これからも調査を続けて、少しでも建設業全体の賃金アップにつなげて欲しいです。(36歳/土木工)
- ▼元請の発注金額が安く、自社の職人に高い賃金がなかなか払えない。(68歳/管工事)
- ▼住宅の給排水設備工事をしてる弊社は、新築工事などは主に下請になるわけですが、大工様から工事代金を叩かれ、ひどい方はリベートまで求めてきます。下請は本当に厳しいです。もう少しハウスメーカーさんや大工さんも自分の利益だけでなく下請のことも考えてもらいたいです。
- ▼収入が増えても、市、県民税の増加でゆとりが感じられない。支払賃金が増加することは単価増につながり、常用として雇用することが難しくなる。(58歳/左官工)
- ▼大工職人の賃金は1日8時間の労働で2万円の賃金は生活に欠かせないものです。これ以上安くなると生活もままならない。
- ▼今の20代、30代は賃金が安いためにすぐに辞める。道具すら買えない。この先、職人がいなくなり、建設会社の存続にも関わる。
- ▼最低賃金の完全実行及び引上げを希望します。全国平均に届きたいです。

事業主が支払った平均賃金額



平均賃金の推移



山形 木工教室の取り組み 16回目の開催

山形建業は10月17日、蔵王第二小学校で木工教室を開催し、全校児童82人が参加しました。今年度で16年間続いている開催となり、市内17の小中学校で累計6249人の児童が体験した事になりました。

私たちの木工教室の狙いは、木が持つ持っている暖かさ、自然との共生、木材に触れ職人と共にものづくりを行うことで、人の優しさや人と人との協力を学び、未来の人材育成の取り組みの一環として、また、通常の授業では伝えることが難しいものづくりの楽しさを子供たちに伝えることを目的としています。



子供たちの作品

第40回

住宅デー

村山

建設業界では、益々若年労働者不足が深刻になっていきます。私たちの取り組みで少しでも児童らに夢を与えられたらとの思いで、この取り組みを今後も大切にしていかなければと思います。

【水戸一馬 記】



村山-模擬上棟式で餅撒き

10月1日(日)に良い天気の中、飆葉プラザにて住宅デーが行われました。包丁研ぎ、組板販売、住宅増改築・リフォームの相談があり、大工・建具屋さんからの包丁研ぎをしてもらいました。午後からは模擬上棟式が行われ、市長・県議・商工会長さんの挨拶があり、大勢の人が集まり、盛大な餅撒きが行われました。夕方からは住宅デーに参加していた方々のご苦労を労い、直会を開催。商工会長の出席もあり、集まった方々が懇親を深めました。

【高橋 強 記】



寒河江-鱒のつかみ取り

11月11日(日)「おおえの物産・味覚まつり」に出席する形で第40回住宅デーを開催しました。今年会場を、本郷地区にある大江町中央公民館に移して開催されたせいか、昨年よりも来場者数が減少したように思われました。

大江

当組合の催し物は、模擬上棟式・包丁研ぎ・手作り木工品の販売・竹馬乗り体験でした。来場者の減少が影響してか、包丁研ぎの件数が昨年よりも34丁も減ってしまい、若い組合員が数名参加してくれたのに、腕を發揮する機会が少なくて残念でした。

寒河江

「見る・聴く・体験する、地元でつくる宝箱」をテーマに、第31回住宅フェアが実施されました。会場を屋内運動場に変えて2年目を迎え、寒河江市住宅推進協議会が主体となり、23団体の業者が一体感のあるスタイルで行われました。

当組合では集客の目玉として、鱒のつかみ取りと、建築業組合と合同の小学生以下を対象とした親子木工教室を行い、2日間で62組の参加があり、大変賑わいました。



大江-組板販売を行った

ただ、竹馬乗り体験は珍しさが興味を引いたようで、子供たちは勿論、大人にも喜ばれ嬉しかったです。来年も来場者に喜ばれる住宅デーにして、組合を大いにアピールしたいと思います。

【松田美紀 記】

高島

本棚・椅子・飾り棚などに家を持ち帰っても大切に使える「逸品」を製作し、子供たちも満足げ。また、木工品の展示・販売や、青年部の技能競技大会の試作品販売も行い、職人の手仕事を披露する事ができました。

来年も若い世代や子供たちが「木」に興味を持てる様、積極的にアピールをしたいです。

【武田栄一 記】

高島町建設組合は、毎年6月25日を住宅デーと位置づけ、奉仕活動を行ってまいす。組合員の交流と地域への貢献などを目的に活動を行っています。日時や内容の変更は一度もありません。今年も実施することができました。

地区の公民館を利用しての支部が多いため、公民館から多数の包丁研ぎを依頼され、数量が多くなっています。終了後は各支部で反省会をして、組合の7月定例会で役員より組合全体の数量が発表され、良い点や問題点などを話し合っています。

【五十嵐敏雄 記】



高島-七夕飾りの下で

長井

長井白鷹建設組合では、8月20日に長井市と白鷹町の小中学校にて修繕ボランティアを行いました。長井・西根・蚕桑・荒砥・東根の各小学校、長井北中と白鷹中及び白鷹専修学校に組合員が出向き、逆上がり



長井-学校で修繕作業

補助版や教室壁の修繕、スロープ舗装の補修などを行いました。照り付ける太陽と厳しい夏の暑さの中、組合員は子どもたちが安心安全に過ごすことができるようにと思いを込めながら活動に参加し、汗を流しました。

【鈴木 学 記】

当組合は毎年ボランティア活動に取り組んでおり、21年目となる今年には35名の組合員が参加しました。



みそでんのあめん

東根市中央南2丁目7-10 泉二番館 1F

TEL: 0237-42-8202
営業時間: 11:00~21:00
定休日: 木曜日

今回は東根市の「みそでんらあめん」をご紹介します。前を通りかかったときに「もちもちごくとめん」と、いかにも味噌ペースでやっていますという感じの店名に惹かれました。



太さ。これ以上太ければうどん屋に較替えしなければならぬところ。スーパも味噌全面おしで塩味が強めですが、東海地方出身としてはこれぞ味噌といえる味です。2ヶ月に一回くらい、無性に食べたくなります。

